

だれもが文化でつながるプロジェクトについて

東京文化戦略2030

■2022年度から2030年度までの長期計画であり、2040年代における東京のあるべき姿を描き、東京都の文化行政の方向性や重点的に取り組む施策を示したもの

将来像を実現するための4つの「戦略」

- (1) 人々のウェルビーイングの実現に貢献する
- (2) 人々をインスパイアする
- (3) 芸術文化のハブ機能を強化する
- (4) 持続性のある芸術文化エコシステムを構築する

【プロジェクト2】だれもが文化でつながるプロジェクト

- 芸術文化の力で豊かな生活や共生社会の実現を図る
- 都立文化施設のアクセシビリティ向上や高齢者、障害者、外国人、乳幼児等を対象としたアクセスプログラムを展開
- アジア初の本格的な総合国際カンファレンスを実施

具体的な取組例

■誰も文化でつながる国際会議・サマーセッション(隔年実施)



トークセッションの様子
(東京都美術館)

芸術文化による共生社会の実現に向けた取組を推進するため、国内外の先進事例を共有・発信する、総合国際カンファレンス「だれもが文化でつながる国際会議」を開催。国際会議で得た知見を国内に広め、新たな取組を発展させるため、翌年にサマーセッションを開催。(隔年実施)

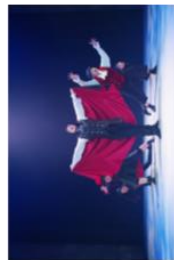
■障害者の文化芸術活動の発表の場の提供(つながる音楽会)



「令和5年度第1回
つながる音楽会」の様子)

障害者の実演芸術分野における発表の機会を定期的に創出し、障害者やその支援者等の創造活動のモチベーション向上や多様な人々の交流、相互理解につなげることを目的として実施。

■芸術文化による社会支援助成



SACミュージカル「怒羅吸羅」
撮影：御堂義兼

障害者による芸術文化の創造・鑑賞活動を促進する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、都民の芸術文化活動の充実を図る。

